

# 特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成24年7～9月）のポイント

※特定本邦事業者

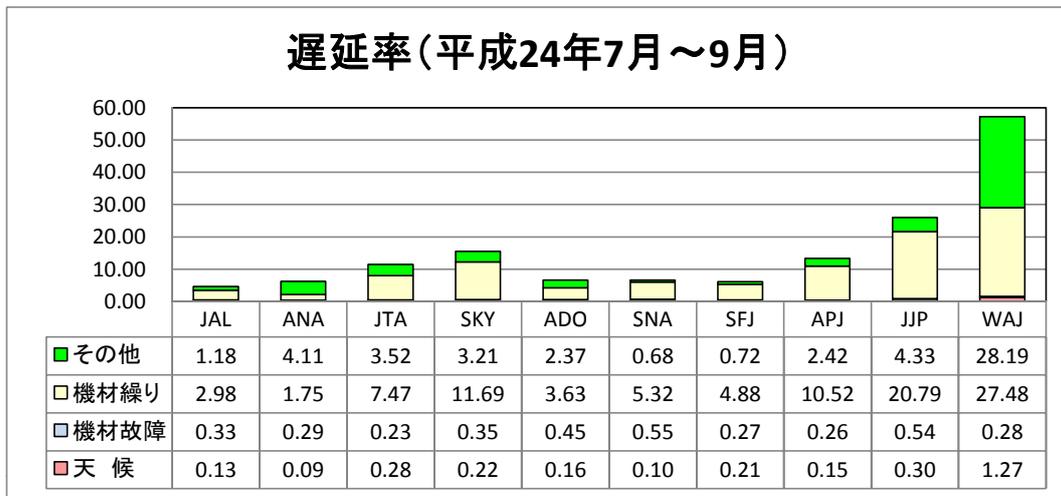
- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- I77アジア・ジャパン：WAJ

## 1. 輸送サービスの比較等に関する情報

### （1）遅延率（平成24年7月～9月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6.82%	7.74%	0.92ポイント減少

※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。

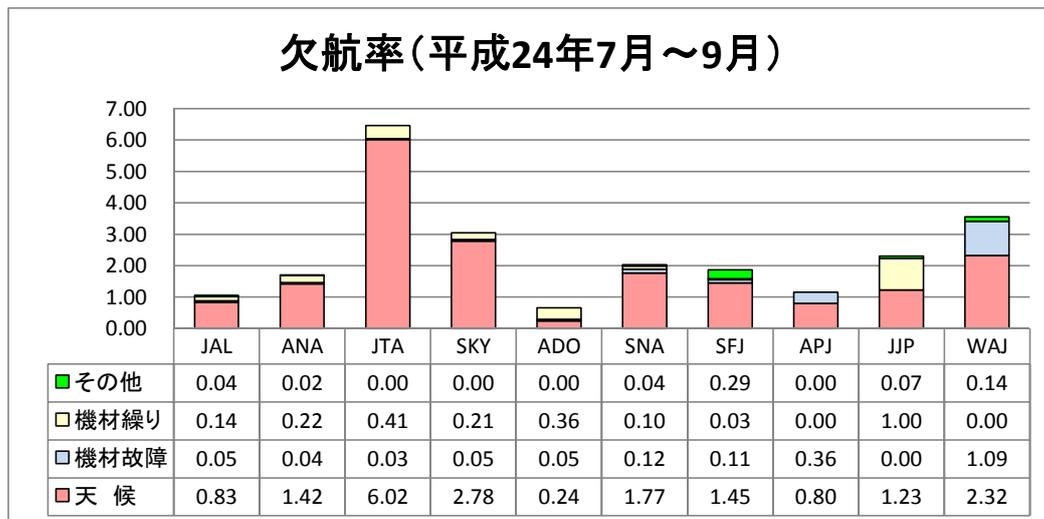


※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

※エアアジア・ジャパンは8月～9月の実績

### （2）欠航率（平成24年7月～9月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.82%	1.80%	0.02ポイント増加



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

※エアアジア・ジャパンは8月～9月の実績

## 2. 運賃関連情報

### (1) 輸送実績（平成24年7月～9月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	927	926km	0.13%増
輸送人員	2191万384人	2130万6228人	2.84%増
輸送人キロ	203億1584万人キロ	197億3790万人キロ	2.93%増
旅客収入	3713億90百万円	3665億29百万円	1.33%増
輸送人員あたり 旅客収入	17.0千円	17.2千円	1.45%減
輸送人キロあたり 旅客収入	18.3円	18.6円	1.72%減

### (2) 路線別データ（平成24年4月～6月）

#### ①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	253万8771人
2位	東京＝福岡	186万2407人
3位	東京＝那覇	124万9959人
4位	東京＝大阪	141万9026人
5位	東京＝鹿児島	59万4491人
	全路線	2230万7273人

#### ②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	東京－石垣	98.9%
2位	小松－札幌	94.8%
3位	中部－石垣	87.3%
4位	仙台－札幌	85.4%
5位	関西－鹿児島	83.3%
	全路線	65.8%

下位5路線は次のとおり。

1位	那覇＝北九州	25.36%
2位	東京＝大島	34.36%
3位	東京＝三宅島	44.05%
4位	大阪＝旭川	58.25%
5位	大阪＝石見	59.32%
	全路線	67.3%

## 3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成24年7～9月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールズ（搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	2.19人	0.35人
②	日本航空	1.47人	1.29人
③	全日本空輸	0.92人	1.78人
	全社平均	1.12人	1.27人